

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2017年 12月 5日公開

.....
今日は、いくつかの事についてお話したいと思います。

イスラエル空軍による最近のシリアでの攻撃、それからシリアの状況、バッシュール・アサドの宮殿から非常に近いところ。そして、イエメンで現在起きていること、それからエルサレムと、トランプ大統領が後に行う演説について、アメリカ大使館のテルアビブからエルサレムへの移動について。それから、イスラエルからキプロス、はるばるヨーロッパへと続く、新しいガスパイプラインについても、状況を少しお話したいと思います。ロシアが非常に神経過敏になっていることです。あと一分だけ待って、皆さんが繋がったのを確認してから始めましょう。その間に、神に祈って、このライブが滞りなく行われるようにお願いしましょう。

お父様。

あなたの真実、御言葉に心から感謝します。あなたの御言葉は実に真実で、私たちが聖めてくださいます。お父様、今、周りで起きていることを目にしながら、私たちは本当にワクワクしています。その日が、確実に近づいていますから。エルサレムで起きていること、ダマスカスで起きていることを見て、ワクワクします。また、ゴグとマゴグの顎にかけられた鉤、つまり、私たちの所で見つかった石油とガスに関しても、とてもワクワクしています。そこで、お父様、今日、イスラエルでは午後、アメリカでは早朝、アジアでは深夜（書記注：日本時間12月6日1:00AM）ですが、あなたが、私たちの心に語られ、私たちが見聞きしていることを通して、私たちに励ましてください。あなたの御名を祝福し、これらすべてをイエスの御名によってお祈りします。

アーメン。

アーメン！では、ガリラヤ湖よりこんにちは。アミールです。外は暗いので、美しい湖を皆さんにお見せできませんが、インスタグラムでは「beholdisrael」が私の名前で、午後のガリラヤ湖がはっきりとご覧いただけます。今日から明日にかけて雨が降るようですが、それではまだまだ足りません。現在、イスラエルは深刻な水不足で、もっと雨が必要ですので、どうぞお祈りください。

では、まずは最新のイスラエルによる空爆についてお話ししましょう。

金曜の夜から土曜の朝の間に行われ、最初の攻撃は…いつも言いますが、私がお伝えしていることは全て、イスラエル軍による確証はされていません。そしておそらく、イスラエル軍は確証しないでしょうから、私はただ、既に報道された事をお伝えしているということです。一回目の攻撃は、イスラエルは地対地ミサイルのエリコ1ミサイルを使用し、イ

イスラエル側からはるかシリア側を攻撃。我々は、現役の武器を破壊する必要はなく、ダマスカス郊外に新しく建てられたイランの基地を破壊したのです。基本的には、我々はイランとシリアに通告しました。ロシアやその他関係者全員に対しても、イスラエルはシリアに侵入しているイランの軍に対して、一切容認しない事、そして、我々に手立てがある限り、それはあり得ない、と。しかし、私が感じているのは、ロシアが我々に対して我慢の限界に来ていて、ロシアがイスラエルの軍事行為の全てを禁じるまでに、そう時間はかからないだろうと思います。それによって状況がエスカレートし、有名なエゼキエル戦争に繋がるでしょう。我々が、建物や、武器が置かれている施設を破壊したのは今回が初めてで、これによってイランの基地は激しく破壊されました。現在イランは、今後どうすべきかを検討中で、ダマスカスの郊外に基地を造るべきでないのかもしれない、と考えています。そこは、簡単にイスラエルの標的になるからです。それならどうするのか？イランは、新しい戦略を思いつきました。それは、彼らのシリア国内駐留をダマスカスの中に置くこと、ダマスカスの町の中心部に、です。そうすればイスラエルは、容易に攻撃の決断が出来なくなる、と彼らが言っているのです。考えてみてください。イザヤ書 17:1 は、ダマスカスが破壊されることを告げていて、イランは軍駐留をダマスカスの中心に動かすことによって、文字通り我々にダマスカスを爆撃するよう、懇願しているのです。これは、非常に興味深い展開で、我々の全員がよく注意して目を見張っておくべきことです。先ほども言いましたが、我々はイザヤ書 17:1 の成就を、エゼキエル戦争の着火地点として見ています。考えてみてください。一旦、ダマスカスがイスラエルによって攻撃されると、既に準備を整えている現地の軍隊全員が、我々に向かって攻撃してきます。次に、それにも増して昨夜、今から 24 時間以内の話です。イスラエルが再攻撃しました。しかし今回は航空機 F-16 でレバノンの空軍基地へ行き、いくつかのロケット、ミサイルを発射。それがシリアの軍研究センターに命中したのです。実は 4 年前に、我々はすでにその特定の場所を攻撃しています。彼らがそこで、化学兵器を開発していたからです。そして今回、我々が気付いたのは、彼らは、ロケットをもっと正確にヒズボラに渡すための新しいシステムを、そこで開発していたのです。これはイスラエルが、イランがヒズボラに渡すのを許さないものの一つで、イスラエル内の標的を命中する、非常に精度の高いロケットです。ロケットは、ダマスカスの郊外のジュメイラと呼ばれる場所にある、その特定の施設で製造されていて、我々はその場所を攻撃しました。そして、その後に起こった爆発や煙を見れば、そこにあったミサイルも爆発したことは、確実です。ですから、建物に命中しただけでなく、中にあったミサイルにも当たったのです。これは面白いことで、我々はイランの施設を破壊しただけでなく、イランのロケットをレバノンまでもっと正確に送ろうという、シリアのヒズボラを援助する動きも破壊したのです。ということで、イスラエルは実に明確に示しました。イランにも、シリアにも、ヒズボラにも伝えました。

「我々に対して、企てを続けるなら、お前たちの生活は非常に気まずいものになるだろう。」
実際、我々はロシアに対しても伝えました。

「イランがシリアにいる限り、シリア国内の平和な移行など、期待してはいけない。」
ヴラディミール・プーチンは2018年3月までに、出来る限り多くの兵士を撤退させたいのです。そうすれば、ロシアの選挙で「自分はあるそこにはいない」と国民に言うことが出来るからです。だから彼は、同盟を組んで政治的に合意して、どうにか筋を通そうとしているのです。しかし彼は、イランが問題を起こすことには興味がなく、またイスラエルが現在行っていることを引き続き行うために、彼の許可を求めて来ることにも興味がありません。ですから、イスラエルとロシアの間の緊張感は、現在どんどん高まっていて、イランはまたしても中東全体の“ペテン”の中心となっています。これは一つで、この三日間に攻撃は二回ありました。これらは、非常に大きな意味のある事です。それは、今回シリア国内のイランの駐留と、シリアを通してはるばるレバノンのヒズボラに渡るイランの武器に、直接向けられたものでしたから。

次に、トランプは「イスラエルの首都はエルサレムである」と発表するのかなど、一連の件について少しお話ししたいと思います。まず、以前にも言った通り、大使館は移転しません。トランプは1995年から言われている、アメリカ大使館のエルサレムへの移転を、延期させるための棄権書にもう一度署名します。彼がそれを行う理由は、それを何らかの形で支援する、国際連立を得る術がなかったからです。現在、彼はイランの拡大に敵対する、連立を建て上げることに多忙なのです。だから彼は、大使館の移動を犠牲にしますが、政党が彼に言わせようとしているのは

「大使館は移動させないが、支持者の方々が投票したものは、皆さんにお与えしよう。」
皆さん、共和党の政策には、次のことが書かれているのです。

「我々はエルサレムを、永遠の、分割できない、ユダヤ国家の首都として認識している。」
これは、トランプの個人的意見ではなく、共和党の政策なのです。彼は今ではもう、一年以上そこにいますから、福音派の投票者に対してだけでなく、ユダヤ人投票者に対しても、約束を守らないことの言い訳は出来ないのです。ですから、トランプは恐らく次のように言うでしょう。

「私は、エルサレムに関して発言をする。しかし、今の時点では、大使館は移転しない。」
これは、基本的に私が前から予測していた事であり、現在私たちはそれを目撃しています。今、我々が目にしているのは、サウジが「それは止めておけ」と言い、ヨーロッパは彼に「それはするな」と言い、トルコはほんの2時間ほど前に言いました。

「もしトランプが、エルサレムはイスラエルの首都である、と発表するなら、トルコはイスラエルとの関係を一切断ち切る。」

我々が、彼らとの関係が必要だとかいうことではなく、ただ興味深いのが、いずれトルコはある意味、書面上では大使館や大使、その他の関係でイスラエルの味方であったところから、我々に敵対する悪の枢軸、イラン、トルコ、ロシアの方に完全に移行していくのです。ということで、まさにゼカリヤ書12章にある通り、エルサレムが確かによろめかす杯

であることを、我々は目にしているのです。これまでアメリカの大統領全員が、アラブ界やヨーロッパの怒りを買わないように、エルサレムに触れようとしなかったのに、トランプは非常に非伝統的な人物で、彼はこれまでの大統領が誰も行わなかったことをしてきましたし、

「アメリカはエルサレムをイスラエルの首都として見ている」

と発言するかもしれませんが、しかし、繰り返しますが、大使館は少なくともこれから6ヶ月は移転することはありません。私の予測は、イスラエルとパレスチナの間の和平プロセスに、彼が完全に興味を失わない限り、彼は、大使館の移転は一切行わないでしょう。彼が、パレスチナ、イスラエルの間に希望がないと判断し、イランに敵対する連立の必要がなくなれば、その時は彼も大使館を移転させるかも知れません。もし、私がパレスチナ人なら、実際の移転を心配したりしませんが、きっとこう言うでしょう。

「あなたは、どうしてエルサレムをイスラエルの首都だと認識することを恐れるのか？」トランプはもう既にそれを言いました。彼は、複数回言っています。実際それは、指導者が現在の大統領として選ばれた党派の政策です。ですから、これが彼が選ばれた理由となる政策の一部なら、彼がそれを言わないなんて期待できません。以上がエルサレムに関してです。何度も言いますが、エルサレムは話題の中心であり、取り囲む者たちにとっては、非常に重い石となっています。ただ、言うておきますが、大使館は移動しませんが、エルサレムはアメリカの大統領によって、イスラエルの首都である、と宣言されるでしょう。そして、それで十分なのです。さっきも言いましたが、トルコを我々から離れさせ、中東をさらに明確に二手に分けるには。つまり、シーア派とスンニ派です。

イエメンの元大統領が、昨日、フーシ派反政府勢力によって、惨殺されました。実際に彼は、頭に石が何度も命中して殺害されたのです。カダフィー（書記注:1942~2011 リビアの軍人、独裁者）が自国民に殺されたのとほぼ同じ形です。フーシ派は、元大統領がサウジと協力して、何らかの形で首都サナアを占領しようとしている、と疑っていたのです。果たして、数時間のうちにサナアは、金曜日にフーシ派から解放された、と宣言しました。もちろん、イランの援助を受けたフーシ派は、武器を持って反撃し、戦車や兵士を首都に送り込みました。そして、大統領が車で別の町まで逃走しようとした時、フーシ派の一人が…大統領宮殿の中にいたスパイと言っておきます…が彼らに合図して、大統領が別の町に逃げようとしていることを知らせ、彼らは道中で待ち伏せして、路上にバリケードを張って車を撃ち、たくさんの布等で包まれた彼を発見しました。そして彼らは残虐な形で彼を殺したのです。もう一人、スンニ派の指導者が処刑され、シーア派が勝利宣言をしています。それが、イエメンの考えですが、この元大統領が、再び大統領になることを望み、何千万ドルとつぎ込んでいたサウジにとっては、大打撃です。実際彼は結構な年数をアメリカの政権のために働いていたのですよ。オバマ政権がイラン側の味方に付き、彼を見捨てたのです。それによって、フーシ派がどんどん強くなって、最終的に武力支配したので

す。ということで、もう一人指導者が、オバマのアラブの春を見るために、その命を犠牲にしました。あれは、「シーア派イスラムの冬」以外の何ものでもありません。

ということで、シリア国内におけるイスラエルの攻撃について、エルサレム問題について、イエメンについて、現在起こっていることをお話しました。イエメン人が二日前に行ったのは、フーシ派が弾道ミサイルをアブダビ（アラブ首長国連邦）に向けて発射。彼らは実際に、サウジアラビアの隣の国に向かって言ったのです。

「お前たちなど大したことはない。我々が、お前たちを潰す。」

そして、まだ完成していない核施設、核電力施設に向けて、ロケットを発射しました。ロケットは無事発射され、1,200 kmの距離でしたが、それがサウジの領土に落ちたのです。このように、サウジはまだ、イエメンから飛んで来るロケットの被害を受けています。そのロケットがサウジに向けられたものではないにしても、です。サウジは膨大な量の高価なアメリカ製の軍事装備を失っているのです。フーシ派は、遠く隔離された場所にいるサウジ部隊を攻撃して、膨大な量の新品の武器を奪っています。彼らがサウジから奪った武器の多くは、アメリカ兵でさえ、まだ多くが持っていないほど、最新のものだと思います。このように、サウジは未だ、あちら側からの大きな圧力の下にいて、そしてサウジとエジプト、ヨルダン側と、他方はイラク、レバノン、イエメン、それからシーア派の枢軸であるイランの側との間の緊張感が、どんどん高まって来ています。いつも言う事ですが、聖書の中で、これから起こると言われていることは、明らかに起こります。そして、イスラエルがその中心となります。しかし、その舞台裏には、ずっと続いて来たシーア派対スンニ派の闘争があるのです。そして、オバマ政権が合意した協議以来、イランは膨大な勢力を手に入れ、膨大な勢いをつけ、今後も継続していくための大きな勇気を得ています。自分たちには合意書があり、誰も彼らに触れることは出来ない、と分かっているからです。サウジに関しては、以上です。

そして、イスラエルが、今日調印しているのは、——事実、こうして話している間にも、我々と、イタリアやその他のヨーロッパ諸国と、キプロスの間で、覚書に調印しています。基本的に、イスラエルのレビアタンと、キプロス、両方のガス田よりガスを引くため、地中海の海底に巨大なガスパイプを通し、そこからヨーロッパの各地へ直接繋がります。皆さん、考えてみてください。これは、ロシアが容認できず、容認しないことの一つです。ヨーロッパのガス輸出に関して、彼らの支配権が奪われるのですから。この全てに対して、ロシアは非常に神経過敏になっていて、これが、ロシアがやがてイスラエルに攻め込む、もう一つの理由となります。

ということで、全ての材料がそろっています。イスラエルがダマスカスを攻撃する理由も、既に存在します。先ほどお話しましたが、イランが、全部隊と軍勢力を、もはやダマスカ

ス郊外ではなく、ダマスカスの中心部に移動します。彼らがそう言ったのです。これで、イザヤ書 17:1 に向けて、一つ揃いました。トルコは、もしトランプがエルサレムを首都だと発表するなら、我々との関係を完全に断ち切ってしまおう、とイスラエルに告げています。それが、トルコが我々に攻めて来る理由の1つであることは明らかです。そして、我々には、ヨーロッパに供給するガスと石油があり、それがロシアを非常に神経過敏にし、そして、激怒させるのです。このように、全ての材料が揃っているのが見えました。現在起こっている事の全てが、神の御言葉と見事に並んでいます。これを見ていると、本当にワクワクします。これら全てを見て、私たちは励まされるべきです。多くの人が

「世界が戦争に向かっていっているのに、どうして我々は励まされるのか？」

と聞きますが、それは、その戦争は信者である我々は目にすることも関わる事もない戦争だ、ということ、我々は聖書から理解しているからです。だから、その戦争への備えが見えてきたら、恐らく物凄く近いうちに、戦争よりもずっとすぐに、我々の贖いが起こるという事が分かるからです。私たちの体の贖い、教会の携挙です。だから私は、物凄くワクワクしています。ごくわずかな人たちが、携挙がまだ起こっていないので、失望しているのも知っています。いつも言いますが、パウロは私たちにアドバイスしてくれています。忍耐をもって、競争を走り抜きなさい、と。携挙が起こるのを待つ代わりに、それが起こることは、私たちには分かっているのですから、それは祝福された希望で、私たちはそれを信じています。それが起こることを私たちは知っています。イエスが、そう約束してくださったのですから。そして、約束してくださった方は、真実な方だ、と聖書にはあります。しかし、その時までには、いつも皆さんを励ましたいのは、その時まで、ただ座って待っているのではなく、私たちは出て行って、御父の仕事に励まなければなりません。私たちは出て行って、神の御言葉を語り、人々に福音を伝えなければなりません。今は、ワクワクする時です。物凄い時代です。私たちの周りで、あらゆる事が起こるのを見ているだけで、私たちは励まされます。神が、完全に支配されているのですから。想像できますか？神は、これらの事が起こる、と2,800年前に私たちに言われたのです。私たちがびっくりしたり、恐れったり、圧倒されたりせず、備えをするために、私たちに前もって知らせてくださったとは、神が私たちの事をどれほど愛してくださっているか！私たちは知っているのです。聖書は、私たちに、自分の持っている希望を堅く握りしめろ、と告げています。そして、こう言います。約束してくださった方は、確かに真実だ。だから、現在起こっていることの全てから、私たちはそこまで迫って来ている日、まもなく私たちをここから連れ出そうとしている日、神が、私たち全員にしてくださった約束が成就される日、神が、私たちをこの世から贖ってくださる日を見るのです。世界中で、さらに多くの事が起こっています。地震や、火山噴火、その他の事も。しかし、いつも言うように、私たちは目をイスラエルに向け、イスラエルにフォーカスするのです。

Behold Israel! 見よ、イスラエルを！

そして、ダマスカスに目を向けていなければなりません。それが、次の大きな——中東の

全戦争の母とも言うべき、主権国家としてのイスラエルとの戦争の引き金になる、と思うからです。

多くの人から、

「ハルマゲドンの戦いとは、何ですか？」

と聞かれますが、ハルマゲドンの戦いとは——まず、聖書の中にハルマゲドン戦争などというものはありません。聖書には黙示録 16:16 に、ヘブル語で「アル・メギド」と呼ばれる場所に、軍が集められると書かれています。ハルマゲドンです。ですから、これは軍隊が集まる場所であって、聖書を見ればわかるのは、戦争はエルサレムを巡って、エルサレムに関して起こります。そして、この“ハルマゲドンの戦い”は、エルサレムが中心となる大患難の最後の戦争で、その時、イエスがオリーブ山の上に降り立ち、我々も彼と共にやって来ます。ですからこれは、次に起こる戦争ではありません。

次に起こる戦争は、エゼキエル 38、39 章です。これは、私たちが現在、既に目で見ていますから確かです。聖書にも、「見よ」と書かれているように、私たちは今、それを見ることが出来ます。私たちにはそれが見え、その匂いがして、私たちが触れることが出来るのです。私は団体と一緒に、ゴラン高原の頂上にいましたが、爆発音が聞こえました。これはもはや、神学的に考える事ではありません。

その他にも、よく聞かれるのは、詩篇 83 篇についてです。前にも言いましたが、私から見れば、詩篇 83 篇の戦争は 1948 年、1967 年に起こった戦争の内容です。それは、イスラエルを直接取り囲む国々が、我々に敵対して攻め込んで来るというもので、国を消し去ろうとします。それは、1948 年、1967 年に起こった事そのままです。今の時代は、もはやそうではありません。ヨルダン、エジプトはイスラエルと和平を結び、シリアとレバノンの内側で酷く分裂・崩壊していて、彼らは国としては、私たちに攻め込みません。敢えて言うなら、エゼキエル戦争は第一の層ではなく、これまでイスラエルに攻め込んだことのない国々、第二の層です。イスラエルと国境を共有していない国々です。ですから詩篇 83 篇は、もう起こったと私は思っています。そして今は、後にエゼキエル 38、39 章に繋がる、イザヤ書 17:1 が起こる寸前だと、私は思っています。

それから、いったん私たちがここを出ると、大患難でまた別の戦争が起こると私は信じていて、それは、多くのクリスチャンがハルマゲドンと呼ぶものですが、実際にはエルサレムを巡って起こる戦争です。その戦争は、ゼカリヤ書 12:13~14 で説明されています。そして、その戦争の後、ゼカリヤ書 14 章の最後の節にある通り、千年王国に突入する、と私は信じてます。

それから、よく聞かれるのが千年王国の終わりですが、これは第二のゴグとマゴグ、底なしの穴から解き放たれたばかりのサタン自身が取り仕切って、地上の四隅から諸国を集め、主が愛された都と聖徒に敵対します。しかし、彼は永遠の永遠に破滅します。このように、これらはそれぞれ異なる戦争ですから、この全部を混同すべきではありません。詩篇 83 篇はもう起きたと、私は信じます。私たちは今、エゼキエル 38、39 章に繋がるイザヤ書 17:1 が起こる寸前だと信じています。そして、私たちがいったんここを出れば大患難が来て、その終わりにはエルサレムを巡って、有名な「ハルマゲドンの戦い」が起こると、私は信じています。それから千年王国、その終わりには第二のゴグとマゴグが起こると信じています。第一のゴグとマゴグは、もちろんエゼキエル戦争です。

ということで、考えるべき事、理解すべき事がたくさんあります。このメッセージを途中から聞いた方は、どうか最初に戻って、最新のアップデート、昨夜の、シリア国内のイラン基地と、シリアの軍事基地両方に対する、イスラエルの攻撃について聞いてください。ワクワクする時代です。皆さんはどうだかわかりませんが、私は超ワクワクしています。今年は、年末にかけて、あと二組ご案内します。どうか皆さん、続けて神の御言葉の中に留まってください。そして、ただ周りを見回すだけでなく、上を見ましょう。そこが私たちの競争の目的地であり、私たちはそのように走るべきです。私たちの信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでください。

どうか、ニュースレターをご登録ください。Beholdisrael.org からメールアドレスを入力するだけです。また、インスタグラムをフォローしてください。「beholdisrael」です。それから、アプリをダウンロードしたい方はアプリストアより、Behold Israel です。何かが起これば、そのアプリからポップアップ通知でお知らせします。新しいロゴを入れて、ウェブサイトを更新中です。あと数日で出来上がります。以上です。

それから近いうちに、中国語のユーチューブチャンネルが登場します。すでに日本語チャンネルはありますが、中国語、スペイン語のチャンネルが出来上がります。そうすれば、私のメッセージがそこに上がって、それぞれの言語の字幕が付きます。日本語はもうすでにあります。まもなく中国語とスペイン語が出来上がります。来年の中頃には、更に多くのチャンネルが出来ていることを期待します。多くの言語に訳される必要があることを理解していますから。

ありがとうございます。ガリラヤ湖より、God bless you!

また何かが起こればアップデートしますが、常に動画ではありません。フェイスブックで、「a word from Amir/アミールより一言」を投稿する場合があります。動画は、時々状況によって出来ない事があったりするので、何かが起これば、フェイスブック、ユーチューブ、

ツイッター、インスタグラムをフォローして、アップデート情報を得てください。

ありがとうございます。God bless you!

では、皆さん全員の上に、アロンの祈りを祈らせていただきます。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וַיְהַנֶּכֶךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שָׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

平和、シャローム。全ての理解をはるかに超える平安、世が与える事の出来ない平安、世は理解すら出来ない平安、そして、このとんでもなく混乱した時代において、これこそが、あなたに必要な平安です。私たちが経験できる、どんな事にも増して大きな平安です。主イエスを信じてください。そうすれば、あなたも救われます。とてもシンプルですが、それでいて、とても難しいことなのです。人は皆、自分の思いにしがみつきますから。ただ、全てを手放して、全ての重荷を主にお渡しして、主のくびきを担う。それは、とても担いやすく、喜ばしいのです。

ありがとうございます。シャローム。ガリラヤより、God bless you! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>